



会津美里町立宮川小学校  
令和3年度学校だよりNo.19  
令和3年9月9日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

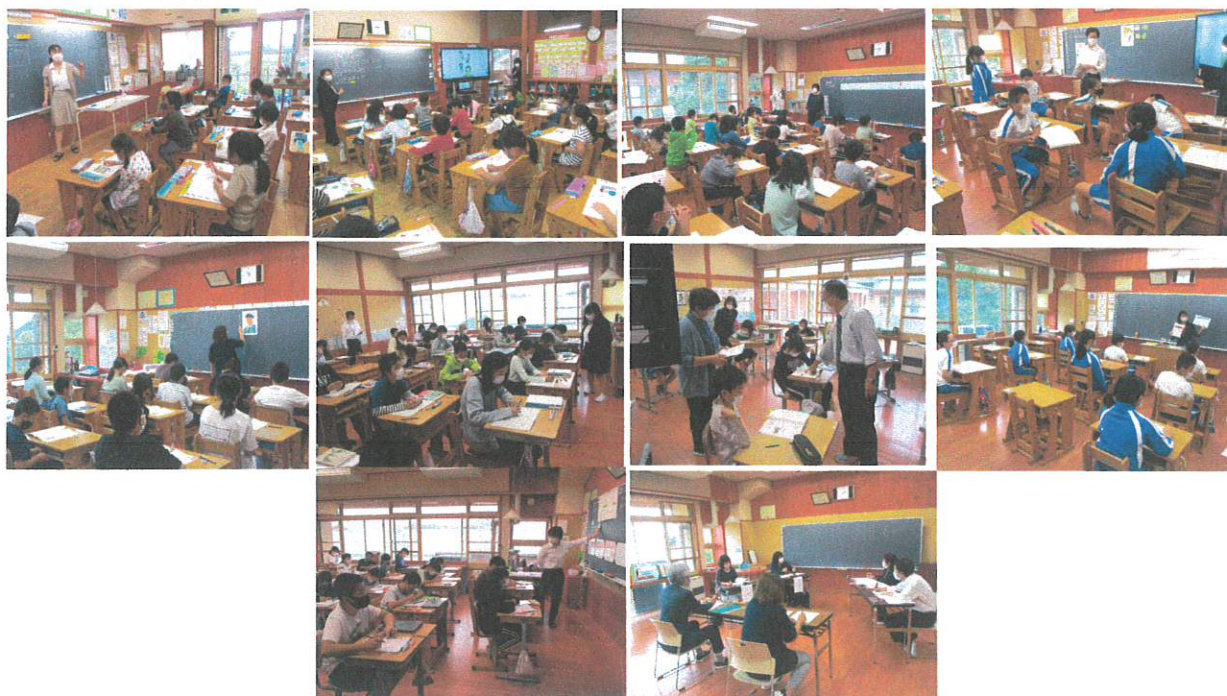
## 県小学校長会アンケート調査より

福島県小学校長会では、今年度と来年度の2年間で、県内の小学生を対象にして、ネット・SNS利用の実態を把握するための調査を実施いたします。（宮川小学校は来年度調査を実施いたします。）今年度分の調査結果の概要の詳細は別紙をご覧くださいと思いますが、過去調査と比較してみても、ネット・SNSを「利用している」と回答した子どもは増加しています。また「ルールを決めている」と回答した子どもも増加傾向にあります。しかしその反面、ルールを「守らない時がある」と回答する割合も年々増加傾向にあります。

ネット・SNS利用上のトラブルも増加傾向にあります。これからの時代、ICT機器活用は欠かすことができないものです。また、どんどん進化していくものです。その反面、正しい使い方を身に着けることやルールの遵守も絶対に欠かすことはできません。学校でも、1人1台のタブレット環境が実現し、授業の中でも使用する機会が増えています。タブレットを持ち帰っての学習もそう遠くない将来に実現するのではないかと思います。学校では情報モラル指導を行い、正しい利用の仕方について学ばせていますが、やはり基本は家庭の取組が重要だと思います。いつもお願いばかりで申し訳ありませんが、使用時間を含めたルールの再確認をしていただきたいと思います。お子様をネット被害から守るために、ぜひよろしく願いいたします。

## 学校訪問

9月8日に会津教育事務所、町教育委員会、町学校教育指導委員の皆様、9月9日に会津教育事務所、町教育委員会の先生方にご来校いただき、授業の様子を参観していただきました。子ども達が一生懸命に学習に取り組んでいるとお褒めの言葉をいただきました。「チーム宮川」児童、頑張っています。また児童下校後、参観頂いた授業についてご指導いただきました。先生方も子ども達に、より分かる・できる授業づくりをするために研修を深めています。「チーム宮川」教職員、よりよい授業づくりに向けて頑張っています！！



# **新型コロナウイルス感染症関連**

現在、会津美里町では12歳に到達した翌月に新型コロナウイルスのワクチン接種券を送付しています。小学校では6年生が該当してきます。町教育委員会より通知がありましたので、以下の点にご配慮いただければ幸いです。

- ・ワクチン接種の日程が選択可能である場合は、可能な限り土曜日、日曜日、祝日等の休業日での接種をご検討ください。
- ・期日や場所の選択が困難な場合等、やむをえず授業日にワクチン接種をしなければならない場合やワクチン接種後の副反応等による体調不良の場合も「出席停止」として取り扱うことも可能ですので、学校までご連絡ください。

## **学力調査**

9月6日(月)に4～6年生に「ふくしま学力調査」(4月実施)、6年生に「全国学力・学習状況調査」(5月実施)の結果を配付しました。今回の学力調査によって測定できるのは、お子様の学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。調査結果に記載されている値は、お子様の現在の学力の全てを表しているものではありません。本校といたしましては、今回の結果の分析を基に、授業の改善と教育活動のさらなる充実に努力して参りたいと思っております。ご家庭におかれましても、この調査結果を一つの参考資料として、お子様の学力向上のために、基本的な生活習慣や家庭学習の見直しにご活用ください。

なお、今回の調査結果の配付につきまして、ご不明な点等がございましたら、学校までご連絡ください。

## **校長のひとりごと**

前述の学力調査に「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目がありましたが、「夢を持っていない」「どちらかといえば持っていません」と回答した児童も何名かいました。みなさんのお子様は「将来の夢」を持っていますか？また、みなさんも小さいころ「将来の夢」を持っていたか？

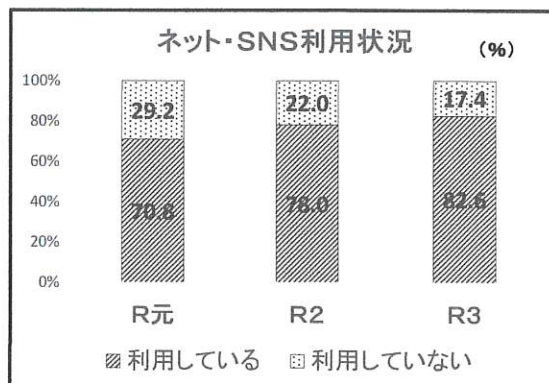
私の小学校時代の夢は「プロ野球選手」でした。中学校で野球部に入り、白球を追いかけました。中学校では「芸能界」に興味を持ちました。特にお笑いの世界に興味を持ったのですが、夢に向かって真剣に努力するところまではいきませんでした。その後、高校、大学と進学するうちに「アナウンサー」という夢を持ちました。テレビの世界の表舞台で仕事をしてみたいと思ったからです。しかし英語力が追いつきませんでした。(英語は大切です。大学入試でも文系理系問わずに英語はあります。入社試験の条件に英語力が問われている企業もあります。ぜひお子様にも頑張らせてください。)そして教師という夢です。子どもが好きだということ、自分の父親も教師でいつも頭のどこかに教師という職業があったことなどが主な理由です。ピアノという私にとっての最難関も何とかクリア？して教師になることができました。

保護者の皆様も幼いころから様々な夢を持っていたと思います。子ども達も様々な夢を持っています。その夢に向かって努力することが自分自身を成長させますし、一回り大きな自分へと導いてくれます。夢がかなわなかったとしても、その過程が無駄になることは決してありません。私もそういう経験をしてきました。だからこそ子ども達には、夢を持ち続けてほしいですし、夢に向かって努力する人になってほしいです。そして保護者の皆様には、ぜひそれを応援してほしいです。

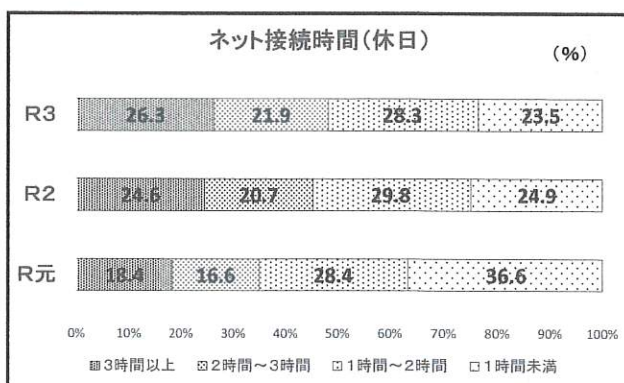
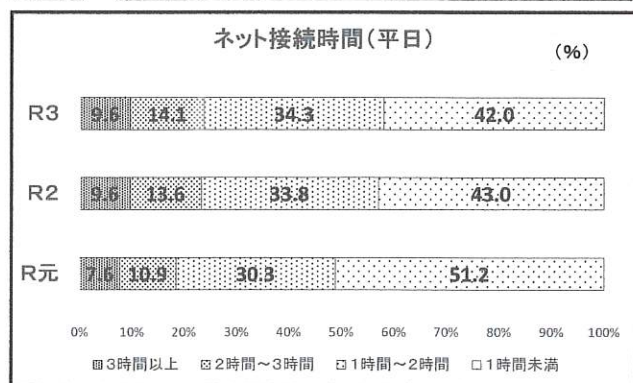
## 子どものネット・SNS利用の実態

### 【家庭におけるネット・SNSの利用状況】

- 今年度の調査では、全体の82.6%の子どもがネット・SNSを「利用している」と回答しています。また、利用者のうち、**自分用の機器**（自分のものだけでなく、自分が自由に使える機器）を所有している子どもは**63.8%**いることが分かりました。
- 利用内容の内訳（複数回答可）をみると、回答の多い順から「動画サイトを見る」、「通信ゲームをする」、「分からないことを調べる」となっています。



### 【家庭におけるネット・SNSの利用時間】



- 学校に登校している平日の利用時間は、全体的に**長時間利用にシフト**していることが明らかになりました。さらに、平日でも**3時間以上**利用している子どもは、**全体の約10%**もいることが分かりました。
- 休日の利用時間もほぼ同じ結果で、平日に比べてかなり長時間化しています。**3時間以上**利用している子どもの割合は、平日の2.7倍を超える**26.3%**となっています。昨年度と比べて増加しており、長時間利用が常態化していることを裏付けています。
- 利用時間の長時間化に伴い、「**ネット依存と思われる状態になった**」という子どもが増加しています。利用時間の長時間化に伴う生活習慣の乱れが懸念されます。

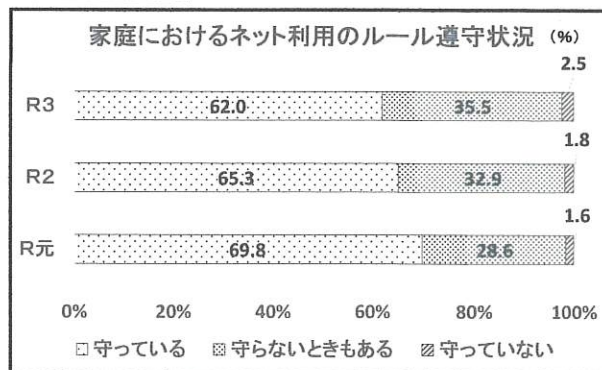
※ 本調査には学校から持ちかえったタブレット端末の利用時間は含まれていません。また、ネット・SNSの利用時間については、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。



### 【家庭におけるルールの遵守状況とフィルタリングの設定】

- 「**ルールを決めている**」と回答した子どもは**84.5%**で、ここ数年、**増加傾向**にあります。しかし、「**ルールを守っている**」と回答した今年の子どもの割合は**62.0%**であり、**年々減少傾向**にあります。逆に、「**守らないときがある**」と回答する割合は、**年々増加傾向**にあります。

ネット・SNS利用上のトラブルも増加傾向にあり、ルールを遵守できない要因を確かめることが、子どもの安全・安心を守ることにつながるので、家庭内での定期的な話し合いが望まれます。



- 子どもが使用している機器への**フィルタリング機能**を設定している家庭が**56.1%**という状況です。子どもをネット被害から守るためにも、**フィルタリングの確実な設定**が望まれます。

## ご家庭でぜひ確認していただきたい、適切なネット利用の仕方

現在、国を挙げてICT教育の環境が整えられ、一人一台のタブレット端末の学校や家庭での利用が急速に進められています。子どもたちがネット・SNSと上手に付き合い、ICT機器をツールとして正しく有効に活用していくことが求められています。しかし、その一方で表面に示したように、ネット・SNSに関わる多くの問題が浮き彫りになっています。

平成30年2月1日に施行された改正「青少年インターネット環境整備法」では、18歳未満のスマホ・携帯の利用を把握・管理して教育するのは、「保護者の責務」と定めています。また、平成30年6月には、WHOが、ゲーム依存を疾患に認定するなど、世界的にもネット利用については、多くの問題点が提示されています。

ネットの危険から子どもたちを守り、安心して上手に利用できるように、以下の内容を確認してくださるよう、お願いいたします。



- ① ネット端末機器を購入する必要性、購入した目的を子どもと（再）確認する。
- ② 必ずフィルタリングをする。（設定の仕方が分からない場合は、各通信会社へお問い合わせください。無料で設定ができます。）  
※ 青少年インターネット環境整備法：18歳未満には必ずフィルタリングする。
- ③ 利用する際の家庭内のルールを子どもと相談して決め、文章化しておく。決めたルールが守られているか定期的に話し合い、見直す。
- ④ インターネットの特性（情報モラル、セキュリティ、フィルタリング）や危険性を保護者が積極的に学び、子どもと確認する。
- ⑤ 子どもがどんな使い方をしているか確認する。（家の中だけでなく、外での使用も含めて）
- ⑥ 保護者自身が適切なインターネット利用を心掛け、手本となってよいマナーを学ばせる。

困ったことが起きたときは、下記の専門機関にもご相談できます。

<相談機関>

- ふくしま24時間子どもSOS（福島県教育委員会） 0120-916-024
- 福島県消費生活センター 024-521-0999
- 都道府県警察の少年相談窓口 <http://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>
- 警察庁相談ホットライン 024-525-8055・#9110（プッシュ回線のみ）
- 匿名通報ダイヤル（警察庁） 0120-924-839 <http://www.tokumei24.jp/>

※ お子さんをネット被害から守るために、よろしくお願いします。

東京オリンピック2020では、選手等に対するネットやSNS上での誹謗中傷が大きな問題となりました。今や私たちの生活に不可欠なネット社会を「フェイクニュースに溢れ信頼性の低い社会」にするのか、それとも「正しい情報と人々の温かさに溢れる豊かな社会」にするのか、今、私たち大人の見識が問われています。お子さんと一緒によりよいネット環境についても考えてみてください。